

2025年度

ニチキッズ佐沼なかえ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念を元に、子ども一人ひとりの思いに寄り添った保育を心がけた。子どもたちがのびのびと過ごせる保育環境を作ることで、安定した保育を行うことができた。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの個性や発達段階を職員間で共有し、丁寧に関わることができた。また、その都度一人ひとりにとっての適切な援助を模索し、共通理解を図りながら援助することができた。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の子どもの様子とともに、成長した姿も伝えるようにした。保護者とのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築くことができた。また、自治体と連携を図りながら保護者支援を行うことができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修では各職員が担当分野をもち、主体的に研鑽に取り組んだ。また、給食担当者とも常に情報共有を行い、安心・安全な給食提供ができた。

総評
今年度は、積極的に地域施設との交流の場を設けていくことを施設の共通課題としていた。近隣の介護施設や警察署、ホテルや自動車整備店などへの訪問を行い、地域の方々との交流を深めることができた。また、途中入園が多かったため、子ども一人ひとりの個性や発達段階を把握し、丁寧に保育を行った。保護者とのコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築き、安心して保育園生活が送れるように心がけた。今後も職員間の連携を図りながら、子ども一人ひとりに寄り添った保育を行っていきたい。